

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

- ・下和泉地区
【地域特性】バス通りの歩道の少なさや交通の便の悪さに加え、感染症の影響で外出しづらさが増している。
【方向性】『移動に関する支援』が必要！
- ・富士見が丘地区
【地域特性】約50年前に造成されたエリアの住民が一斉に高齢化する見込みで、個別相談が増加している。
【方向性】『普段の暮らしを支える支援』が必要！

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | ■ | 認知症の人と家族が安心して過ごせるように、個別・地域課題の解決に取り組みます。
・総合相談の内容や傾向をまとめ、地域にわかりやすく自分ごととしてとらえてもらえるよう伝えます。
・認知症カフェ『ぽかぽかサロン』を開催し、認知症当事者やその家族と地域をつなぎます。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 住民主体の課題解決に向けた取組を介して、個別・地域課題の解決に取り組みます。
・移動販売や地域の生活支援グループなどの活動が、創出・継続・発展できるよう、ともに考えます。
・福祉保健分野以外からも協力を得て、外出意欲を高め、介護予防につなげる取組を実施します。 |
| ■ | <input type="checkbox"/> | 地域にとって必要な自主事業を企画し、個別・地域課題の解決に取り組みます。
・講演会をリモートと参加型とのハイブリッドで実施するなど、多世代が参加しやすいようにします。
・子どもの居場所を充実させるとともに、現役世代の保護者が地域活動につながる機会を設けます。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 地域活動者と専門職との関係性を構築して、個別・地域課題の解決に取り組みます。
・ケアマネジャーと改選された民生委員とで個別ケース等の情報共有を図り、関係性を構築します。
・ケアマネジャーと医療関係機関との連携を図り、よりよい個別・地域支援ができる環境をつくります。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 職員の資質向上と連携の促進を図り、個別・地域課題の解決に取り組みます。
・目標管理による人事考課や新人育成リーダーの設置により、各職員が必要な資質を身につけます。
・指定管理部門と介護保険部門の協力体制を構築し、個別支援と地域支援の融合を目指します。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ★日頃から培ったチーム力を基に、個別課題と地域課題の解決を図り、特に下記の成果があがっている。
- ①相談傾向を民児協等に向け発信し、地域の実態や地域住民による見守りの必要性について周知した。ぽかぽかサロンでは、活動内容を参加者が考え実現していく形が定着して、より自主性の高い取組となっている。
 - ②新規事業所の参画を打診して移動販売継続を支援し、新規拠点も追加して事業を拡充することもできた。おでかけを考える会が、介護予防推進のためのイベントをぽかぽかマップを使用して開催できるよう支援した。
 - ③子育てネットワーク連絡会で、必要とされる『子育て』の講演会をハイブリットで開催できた。また、担い手や参加者も定着し、支援が必要な子どもや地域の子どもたちが気軽に来られる「しもずく広場」を定期開催できた。
 - ④地域主体の介護保険勉強会でケアマネジャーへ講話を依頼し、地域住民との顔の見える関係づくりができた。ケアマネジャーが医療的アドバイスを協力医から得られる機会を設け、業務の円滑実施を支援した。
 - ⑤新人育成リーダー制度が機能することで、新人のモチベーション維持のみならず、育成リーダー職員が俯瞰した視点で職場運営にあたる意識が醸成でき、新人職員を効率的・効果的に育成できた。

区からのコメント

- ・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進めていただきました。移動販売の実施では、地域課題に向き合い、試行錯誤を重ね課題解決に向けた話し合いを進めていることを評価しています。次年度も地域の声を真摯に受け止め、一歩ずつ取組を進めていただくことを期待しています。
- ・個別相談の内容を分析し、その結果を民児協・地区社協等に発信していただいています。引き続き関係機関の連携と、対策の検討に向けた取組をお願いします。ぽかぽかサロンについては継続して事業を実施していただくだけでなく、参加者の自主性をベースとした取組になっています。新たな活動拠点の検討など、活動の発展に向けた取組について後方支援をお願いします。
- ・移動販売については粘り強く取組を継続させるとともに、拠点の追加によって事業の拡充・発展につなげることができています。今後も地域のニーズを踏まえた取組を期待しています。
- ・子育て支援と多世代交流の視点から様々な取組を行っています。今後も、子どもの居場所の充実など学齢期を含めた子どもに関する地域課題を解決していく仕組みづくりに向けた取組をお願いします。